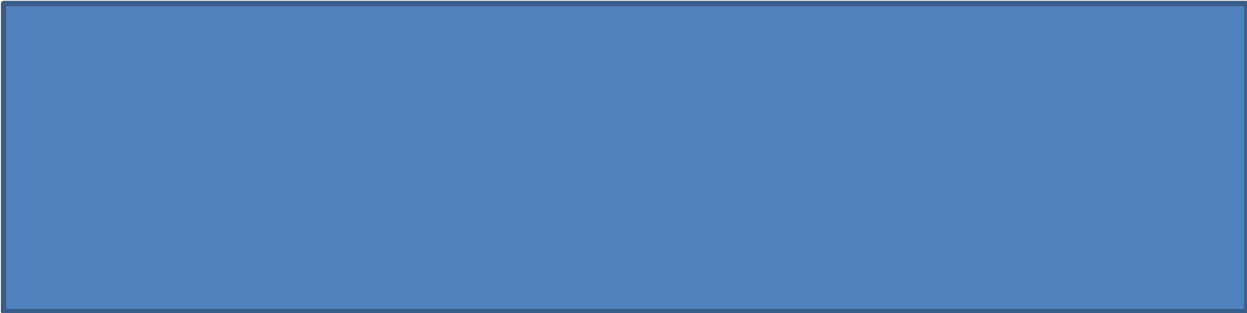


**外国人市民のための
日本語能力向上支援事業
令和 3 年度(2021 年度)実績**

市民局国際平和推進部国際化推進課多文化共生担当
(受託者：(公財) 広島平和文化センター)



外国人市民のための日本語能力向上事業（令和３年度）実績

国は、令和元年度に制定した「日本語教育の推進に関する法律」において「地域の状況に応じた日本語教育施策の策定・実施」を地方公共団体の責務とし、その財政支援として「文化芸術振興費補助金（地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業）」を創設した。

このため、広島市は、同補助金を活用して日本語能力向上支援事業に本格的に取り組むこととし、（公財）広島平和文化センター国際交流・協力課は、令和２年度に引き続き、令和３年度に以下の事業を広島市からの受託により実施した。

外国人市民のための日本語能力向上支援事業

- １ 日本語教育コーディネーターの配置
- ２ 入門レベル日本語講座
- ３ 日本語ボランティア養成講座
- ４ 日本語教育人材と企業のマッチング・企業への日本語教師派遣制度導入の検討
- ５ 日本語教育関連事業
 - (1) 外国人市民のための安全講習会
 - (2) 「やさしい日本語」講座
 - (3) 文化理解講座「世界の人とご縁をつなぐ 水引細工ワークショップ」
- ６ 情報提供の充実

１ 日本語教育コーディネーターの配置

広島市の日本語教育推進に係る体制づくりの取組の一つとして、令和３年４月～令和４年３月に日本語教育コーディネーター（橋本 優香）を配置した。日本語教育コーディネーターは、日本語教育に関する専門知識及び指導経験を有しており、日本語教育に関する各種事業の総括・調整、地域の日本語教室への助言・支援、多様な関係機関との連携協力を担う。

令和３年度のコーディネーターの主な活動実績は次のとおりである。

- ・ 入門レベル日本語講座のカリキュラム策定、講師選定
- ・ ボランティア養成事業の企画、講師選定
- ・ 日本語教育人材と企業のマッチング・企業への日本語教師派遣制度導入の検討のための企業内日本語教室モニター事業のカリキュラム策定、実施
- ・ 地域の日本語教室立ち上げ支援

２ 入門レベル日本語講座

◆ 日 時：（春期）令和３年６月４日～８月２０日（毎週火・金曜日）

（秋期）令和３年１０月２２日～令和４年１月２５日（毎週火・金曜日）

◆ 場 所：広島国際会議場（（公財）広島平和文化センター）研修室

◆ 回 数：各期２０回（各回２時間）

※ 春期・秋期ともに、課外学習の一部及び最終回は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

◆ 講 師：杉本雅恵先生、土屋理恵先生、胡子和子先生

◆ 参加者：（春期）１０名（アメリカ３、インド１、フィリピン１、フランス１、
ブラジル１、ポーランド１、メキシコ１、ロシア１）

（秋期）１４名（中国３、フィリピン３、ブラジル２、インド１、メキシコ１、
アメリカ１、ネパール１、台湾１、日本帰国者１）

日本語学習機会の充実を図る取組として、初学者を対象にひらがな・カタカナや基礎的な会話などを指導する入門レベル日本語講座を実施した。この講座では、ボランティアが指導することが出来るレベルまで日本語能力を向上させ、地域の日本語教室へ橋渡しすることを目指した。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、春期の3分の2以上の授業がオンライン開催となった。

この教室には、日本語ボランティア養成講座の受講者がサポーターとして入るため、日本語の指導と外国人市民及びサポーターへの目配りを両立できるよう、講師には、国内外の大学や日本の行政機関での指導歴があり、日本語教師としての実績が20年以上ある者を起用した。

授業内容については、学習内容を定着させるとともに、学習者が地元広島について日本人市民と共通の話題を持つ事を目的として、課外学習を取り入れた（書道体験、茶道体験）。

授業内容

1	オリエンテーション、簡単な挨拶	10	せいかつ、ひらがな
2	自己紹介、ひらがな	11	スケジュール、カタカナ
3	家族紹介、ひらがな	12	趣味、カタカナ
4	好き・嫌いな食べ物、ひらがな	13	書道体験
5	料理・店、ひらがな	14	誘う、カタカナ
6	家、ひらがな	15	交通手段、カタカナ
7	部屋にあるもの、ひらがな	16	地図、カタカナ
8	時間、ひらがな	17	復習、カタカナ
9	茶道体験	18	ほしいもの、カタカナ
10	せいかつ、ひらがな	19	やすみのひ、カタカナ
11	スケジュール、カタカナ	20	やすみのひ、カタカナ

※21回目、22回目については、課外活動（交流会）を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止した。

3 日本語ボランティア養成講座

◆ 日 時・回 数（各コースとも1回90分）

コースⅠ：5回（令和3年7月16日、7月30日、8月20日、8月27日、9月3日
※各回金曜日）

コースⅡ：7回（令和3年6月15日、7月13日、7月20日、7月27日、8月3日、
8月27日、8月24日 ※各回火曜日）

コースⅢ：7回（令和3年10月19日、10月26日、11月2日、11月9日、11月
16日、11月30日、12月7日 ※各回火曜日）

◆ 場 所：広島国際会議場（（公財）広島平和文化センター）研修室

◆ 講 師：福永尚子先生、石川裕大先生、末田朝子先生（広島YMCA）

◆ 参加者：コースⅠ 28人、コースⅡ 18人、コースⅢ 19人

令和2年度は、平成31年度までの講座の内容（日本語ボランティアとして活動するための心得や知識）を引き継ぎながら、より受講者の経験やニーズに合うよう2コースに分けて実施した。令和3年度は、令和2年度に実施したアンケート結果に基づき、さらにきめ細かく受講者の経験に沿った指導を行うことができるように3コースに分けて実施した。コースⅠは、外国人学習者に初めて接する初心者向けとし、ボランティア参加者の裾野を広げるよう努めた。コースⅡ・Ⅲは経験者向けとし、日本語の教え方のスキルアップを図った。また令和3年度からは、ボランティア経験はないが日本語教師養成講座（文化庁届出受理講座）を修了している者にも広報し、知識・スキルを持つ日本人市民の積極的な参加を促した。

本講座の受講者は、令和2年度に引き続き「2」の入門レベル日本語講座にサポーターとして参加した。これにより、本講座受講後に地域の日本語教室においてボランティア活動を行う心理的ハードルを下げ、より活発な活動や新規教室立ち上げを促した。なお、令和4年度中に、本講座の受講者が新たに1教室を立ち上げる予定である。

4 日本語教育人材と企業のマッチング・企業への日本語教師派遣制度導入の検討

- ◆ 日 時：(1社目)：令和3年8月10日～10月19日 毎週火曜日
(2社目)：令和3年12月9日～令和4年3月2日 毎週水・木曜日

- ◆ 場 所：各企業の社屋（会議室等）

- ◆ 回数・内容：各社同様、以下のとおり

外国人従業員向け日本語教室：10回（1回1時間）

日本人従業員向け「やさしい日本語」教室：1回（1時間）

- ◆ 講 師：広島市日本語コーディネーター 橋本優香

- ◆ 参加者：(1社目) 外国人従業員11名、日本人従業員9名

(2社目) 外国人従業員6名、日本人従業員9名

日本語教育人材と企業のマッチング・企業への日本語教師制度導入に向けて、市内企業2社において日本語教育を試行実施した。令和3年度の外国人従業員向け講座の対象者は、日本語に比較的苦手意識を持っている従業員に絞り、日本語の学習や使用の意欲を高めるため、身近な題材から楽しく学んでもらえるよう心掛けた。また、日本人従業員向けにはわかりやすく平易な日本語でコミュニケーションをとる方法を学ぶ「やさしい日本語」講座を開催した。

外国人従業員からは、業務で必要な日本語の上達だけでなく、業務外で日本人の従業員とコミュニケーションするための日本語を学習したいという希望があり、日本人従業員からは、日本語による会話であっても外国人が相手となると身構えてしまう、苦手意識があるという声があった。

さらに、マネジメント側に対する聞き取りも行い、日本語教室に参加するための従業員のシフト調整や業務扱いにするかなど意思決定・手続が必要であることなど、外国人従業員への日本語教育に意欲はあるが方法が分からず困っている企業があること、日本語教育に係る費用負担に対する考え方が企業によって異なることなどが分かった。

5 日本語教育関連事業

(1) 外国人市民のための安全講習会

- ◆ 日 時：(1回目) 令和3年7月12日(月) 15:00～17:00
(2回目) 令和3年12月17日(金) 13:00～15:00

- ◆ 場 所：広島県警察本部

- ◆ 講 師：広島県警察本部組織犯罪対策課国際犯罪対策室職員

- ◆ 参加者：(1回目) 17人(中国7、ベトナム2、台湾2、ネパール2、インド1、フランス1、マレーシア1、タイ1)

(2回目) 9人(フィリピン4、中国2、インド1、インドネシア1、メキシコ1)

広島県警と協力し、日本の習慣や規則に慣れない外国人市民を対象に、事件事故や犯罪に巻き込まれないよう注意事項を学ぶ安全講習会を実施した。新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者を3グループに分け、「A. 交通ルール・生活指導」、「B. 110番司令室の見学」、「C. パトカー・白バイの見学」を交代で回る形とした。若年の外国人参加者の中には、働く大人(警察官)の姿を見ることが出来るいい機会となったという声もあった。

(2) 「やさしい日本語」講座

- ◆ 日 時：(1回目) 令和3年7月31日(土) 13:30~15:30
(2回目) 令和4年2月27日(日) 10:00~12:00
- ◆ 場 所：(1回目) 可部公民館 (2回目) オンライン開催(三篠公民館と共催)
- ◆ 講 師：ひろしま国際センター 犬飼康弘先生
- ◆ 参加者：(1回目) 24名 (2回目) 25名

地域住民と外国人市民とのコミュニケーション促進の一助とするため、わかりやすく平易な日本語でコミュニケーションをとる方法を学ぶ「やさしい日本語」講座を開催した。広島市内に住む外国人市民数や出身地などの現状についての講演に続き、「やさしい日本語」の使い方について説明を受けた。難しい災害情報などの文章を「やさしい日本語」に書き換える練習も行った。

2回目は三篠公民館との共催で実施した。令和4年3月に三篠公民館で地域の日本語教室の立ち上げが予定されていたため、「やさしい日本語」講座を通してこの教室でのボランティア希望者を募るとともに、活動開始にあたって必要な知識やスキルを学んでもらうためのきっかけとして開講した。

(3) 文化理解講座「世界の人とご縁をつなぐ 水引細工ワークショップ」

- ◆ 日 時：令和3年10月31日(日) 13:30~15:30
- ◆ 場 所：己斐公民館
- ◆ 講 師：吉長 孝衛氏(吉長酒店店主)
- ◆ 参加者：30名

水引を用いた雑貨づくりを通して、日本文化に慣れ親しみながら地域住民と外国人市民が交流する場を設けた。同じ地域で暮らす外国人市民を知る機会となるよう、外国人市民の母語でのアイスブレイクなどを行い、コミュニケーションを促した。より地域に密着した活動となるよう、慈善活動に積極的な地元商店の店主を講師に招くとともに、市内近郊の大学生を募り、運営を手伝うボランティアとして参加してもらった。

6 情報提供の充実

外国人市民にとって、日本語の紙ベースの情報を受け取るのはハードルが高いことを考慮するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響によって外国人市民が孤立しないよう、迅速な情報提供の必要性が高まっていることから令和2年度に立ち上げたFacebookのフォロワー数は、令和2年3月150名から令和4年3月現在350名と増加した。

また、日本語事業の広報以外に広島市からの災害情報、NHKや朝日新聞等報道機関から提供される「やさしい日本語」によるニュース等も発信した。

広島市にほんごデスク



外国人市民を対象とした日本語教室や交流イベントなどの情報を発しています。

こちらのQRコードを読み取るか

<https://www.facebook.com/hiroshima.nihongo/>で詳細を表示